

結婚式場やセレモニー会場を運営する東京・白金台の八芳園。真夏は結婚式が少ない時期だが、7月18日は着飾った家族連れの姿が目立った。家族で成人式を開くのだという。

夏に成人式？ そこで式を見学させてもらった。大きなフロアで、千葉県八千代市在住の両親と兄弟4人がテーブルを囲んでいる。司会者が式の開催を宣言すると、若い着物の女性が入場してきた。本人、家族と一緒に撮影すると、儀式も執り行われる。

両親が子育ての思い出と励ましの言葉をつづった「巣立ち証書」を朗読する。これが終わると成人式を迎えた子供が家族

真夏に成人式のナゼ

への感謝状を読み上げ、開かれるかどうかわからないので、やってみようという段取りだった。た。こんなに大がかりだ

新型コロナウイルス禍とは思わなかったけど」の終息は見えない。八芳園と笑う。

園での成人式を終えた金子幸恵さんは「成人式が売のいつ和（新潟県十日



八芳園で開かれた家族だけの成人式（東京都港区）

祝典の原点見つめ直す

町市)。新たな「呉・宝願いだったわけだ。や記念目にお金を惜しま

・美（ごほうび）」市場 48年には成人の目が制ない。成人指輪なども用を開拓するのが目的だ定され、現在の式典に注意しているそうだ。

が、それだけではない。ながる。しかし近年は平 伝統的なセレモニーが責任者の中西昌文アニバ和どころか、式の途中で意味を変えて、消費の場

ーサリー事業部長は歴史 新成人が暴れるなど迷走 になっているケースは引史的な観点から成人式の 気味。それでも「実は若きも切らない。バレンタ再設計を試みていた。

江戸時代までは10代の 希望は強いし、日本固有 インデー、ハロウィーン、うちに元服という名で成 のセレモニー。両親は子 それ役割も変質し、おい

人式を開いていた。この 育て卒業、子供は巣立ち 念日や、自由に騒げる記時代は栄養不足などの理 と双方が祝う家族のため 念日や、自由に騒げるイ

由で幼少期に亡くなるケ の式として作り直すべき バレントになっている。

ースが多く、「よく生きだ」（中西部長）。

抜いた」という意味が強 しかも来年はコロナ禍 今年はいずれも3密

かったという。 中西部長によると、1 り袖姿はいささか暑い 期待できない。家族で成

946年に現在の埼玉県 が、会場を予約しやすい 人式のように、様々な記

蕨市で実施された「青年 真夏に原点に戻る家族で 念日やセレモニーを原点

祭が今の成人式の起 祭の背景にあったのは戦 できない。経済効果も期待 かもしれない。「生きの

争に巻き込んだ若い世代 への謝罪と鎮魂だったと が少ない分、父母や祖父 びている」ことを感謝し

いう。成人式は平和への 母はかけがえのない節目 (編集委員 中村直文)